

令和4年10月 定例教育委員会 会議録

1 日 時 令和4年10月31日（月） 開会 15時00分 閉会 15時40分

2 場 所 福井市役所8階第1委員会室

3 出席者 教育長 吉川 雄二
教育長職務代理者 春木 伸一
教育委員 多田 和博
教育委員 宮郷 美千代
教育委員 栗原 知子

<事務局職員>

教育部長 林 俊宏
少年対策参事官 松倉 伸雄
教育次長 坂下 哲也
図書館統括館長 小倉 敏之
教育総務課長 諏訪 光宏
学校教育課長 坪川 修一郎
保健給食課長 木下 武明
生涯学習課長 山本 桂一郎
青少年課長 松田 玲子
スポーツ課長 塩見 伸治
文化財保護課長 天谷 賢一
図書館長 中野 裕三
みどり図書館長 井土 博之
桜木図書館長 嶋津 康弘
教育総務課 副課長 新井 敏男
教育総務課 課長補佐 廣部 嘉寛

4 議 題

報 告

(1) 教育委員会事務局 各所属の主な事業について

5 議事の経過

- (1) 開会
- (2) 教育長あいさつ
- (3) 栗原委員あいさつ
- (4) 教育委員・事務局職員紹介
- (5) 会議録署名委員の指名 春木 委員 栗原 委員
- (6) 議事の要旨

教育長	まず、報告ということで、各課の主な事業について、懸案事項を中心に説明を求める。
事務局	<p>— 以下、各課説明 —</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教育総務課長 ・学校教育課長 ・保健給食課長 ・生涯学習課長 ・青少年課長 ・スポーツ課長 ・文化財保護課長 ・図書館長
教育長	全般を通して、質問、意見はないか。
春木委員	学校保健の件で、子どもたちの健康の問題はわかるが、先生の心身の不調などは、どこがどういうふうに扱っているのか。
事務局 (学校教育課長)	<p>学校教育課の方では、心の健康チェックという事業を持っており、毎年、教職員のストレスチェックを行うとともに、教職員数50人以上の規模の学校については、学校産業医配置事業という形で、産業医の配置も行っている。</p> <p>なお、産業医の配置は、明倫中学校と森田小学校の2校である。</p>
教育長	今現状で、教職員の中で心身の疾患を持っているのは何人くらいなのか。
事務局 (学校教育課長)	長期休職者は1名、短期的な病気休暇は数名いる。
春木委員	スポーツ課の「ふくい桜マラソン」について、最近市民マラソンへの参加者が減ってきているとの報道があった。原因は、コロナ禍もあるが、参加費が高いということが挙げられているが、何か取組はあるのか。
事務局 (スポーツ課長)	<p>現在、県のふくい桜マラソン課が中心になって事業を進めており、福井市と坂井市が連携して開催に向け取組んでいるところである。</p> <p>参加費を抑えたい思いもあるが、やはり大会にかかる経費とか、いろいろなバランスを見ながら参加費を検討しているところである。</p> <p>企業からの協賛金も募集している中で、協賛金が増えれば参加費を下げられる可能性もあり、そのようなところを県と協力して取り組んでいきたい。</p>
事務局 (教育部長)	他のマラソンでは、東京マラソンは、2万円以上の設定になっている。富山や金沢などの近隣とのバランスを見て、1万3千円から1万5千円くらいを見

込んでいると聞いている。

スポーツ課長が答えたように、協賛金でどれだけカバーできるかといったところが課題となっている

先日、森田地区の新九頭竜橋の渡り初めを兼ねて、メモリアルランと称したイベントも行われ、市民ランナーに大好評で、すぐに一杯になったと聞いている。

今年は3月にプレイイベントもあるので、そこもできるだけ市民の方に参加できるようにPRしていきたい。

教育長

昨日、金沢マラソンが開催されたが、参加者は多かったのだろうか。

多田委員

かなり集まったと聞いている。地元金沢の人も、全国から集まってきたと言っていた。福井は1回目なので、あまり心配していないが、2回目以降も考えないといけない。

また、今年度のプレ大会に参加すると、来年度の本番の優先権をもらえるので、プレ大会の参加者をしっかり集めないといけないと思う。

教育長

ボランティアも、結構な数が必要になってくると思う。

多田委員

3ページ目の部活動の地域移行について、運動部のモデル事業を検証していくとしているが、文科系の部活動についてもモデル事業を実施していくのか。

事務局

(学校教育課長)

運動部活動よりも少し時期が遅れて、文化庁の方から同じような取り組みの概要が示されるなかで、まだモデル事業を実施するという事も示されていないので、県とも協議して、どのような進め方をするか検討している状況である。

教育長

部活動の地域移行については、学校から部活動がなくなると、放課後の受け皿をどのように作るのかということが問題になっている。

今は、剣道連盟とかスポーツ団体が各地区にあって、自分が行きたいところがあってそこが受け皿になれば、簡単なことだが、なかなか受け皿になっていない現状がある。

文化部については、なおさら受け皿となることは難しい状況で、今後の方向性をどうしていくか研究していく必要がある。

国からは、令和5年から7年度が地域移行の集中期としており、この3年間で何とか目途をつけて欲しいと言われている。すべての部活動を網羅できるだけの受け皿はなかなか難しいと思う。

先日の教育長会では、各地域で子どもたちが活動できる場所を、それぞれの地域で掘り起こす必要があるという意見が出ていた。なかなか保護者が、子どもが学校から帰ってきたら、琴を習いたいとか、サッカーをやるという活動場所がどこにあるのかを分かってもらわないといけないと思う。

これらの取組は、福井市だけの取り組みではないので、全県、もしくは全国

的な取り組みが必要と考えており、県で一致した取り組みができるよう県にお願いをしたところである。

おそらく、今、小学生のお子さんが中学生ぐらいになってくると、部活動の存在が非常に危ぶまれ、なくなる可能性もある中で、そのような受け皿を今考えていかなければならなく、大きな課題だと認識している。

春木委員

青少年課の情報モラルの問題だが、福井市ではないが、他の市町で相手が逮捕されたと情報を得ているが、現在福井市では、警察が介入しているような事案はどれくらいあるのか。

事務局
(少年対策参事官)

統計的なものは聞いてみないとわからないが、青少年を対象としたSNSを起因とするネット犯罪の事件は、去年は12件、前年は4件、その前は6件と、平年でも5、6件ぐらいある。

去年が12件となっている影響は、コロナ禍で自宅にいる時間が増えたり、スマートフォン使用者が増加しているということもあり、県下では、青少年の事案いくらかが発生している。また相談も、潜在化しているような相談で、なかなか被疑者まで達しないような相談もあり、大きな課題となっている。

春木委員

ゲーム中毒の問題も取り上げるべきだろうと思う。これも予防が大切なので、ぜひ啓発運動の中へ入れてもらいたい。

事務局
(青少年課長)

学校だけでなく、家族内でも、時間を決めるといったルール作りを行うことを啓発事業の中で取り組んでいる。

多田委員

8ページの図書館リニューアルだが、多目的ホールと活動室は、市民主催の企画も使えるようにしていくのか。

事務局
(図書館長)

両施設は、市民が交流できる場所として考えており、貸室として想定している。来年度、施設設置管理条例を制定し、多目的ホールを有料で貸し出すこととしたい。

学習室の不足にも対応するため、予約のないときには、学生に無償で貸し出すことを考えている。

なお、地域交流の場所ということなので、図書に関連するイベントでなくても市民が交流できるイベントでも使用して構わない。

教育長

最後に事務局から次回の日程について願います。

事務局

次回の定例教育委員会について、11月16日(水)9時30分から、場所は福井市役所8階第1委員会室にて開催するので、御出席いただきたい。

教育長

以上をもって会議を終了する。

令和4年11月15日

署名委員 春木 伸一

署名委員 栗原 知子

会議録作成職員 内田 佳邦